

西内野小学校区

★★地域の特色★★

古くからの住宅地とJR内野西が丘駅周辺の新興住宅地が共存している。農業も盛んだが、サラリーマンや公務員など住民の職業は多岐にわたる。地域には市立幼稚園や県立高校、近隣に新潟大学があり文教的な地域である。病院・スーパーが多く、交通の便が良い。一方、自然も豊かで米、スイカ、メロン、長ネギ、大根などの栽培が盛んである。



この地区の 良いところ



- 各種ボランティア活動の参加率が高く、活動を通じて顔がわかる関係ができています。
- 学校と地域コミュニティとの連携ができており、地域の方の学校行事の参加率が高い。
- 西内野小学校の児童数が増えている。
- 年代に応じた健康に対する取り組みが盛ん。
- 地域で子育てするという意識が高い。

この地区の 課題



- 地域住民の高齢化（高齢者支援・空き家対策）
- 地域づくりに若い世代をはじめ新しい人の関わりが不足している。
- 諸活動の周知方法に対する形骸化

地域で行なわれている主な取り組み 「私たちは、こんな活動をしています！」

【子育て支援事業】

こぼとの会 毎週木曜日西コミセンで未就園児の親子の居場所づくり

【自主防災訓練】

小学校区全体の自治会・町内会で1年に1度行う。

【盆おどり大会】

7月末、西内野の中心部で開催。PTAや自治会が中心となって夜店も催し、毎年地域住民が楽しみにしている行事。

【高齢者支援活動】

高齢者の顔の見える関係づくり支援、友愛訪問活動（民生委員、自治会・町内会）

【もちつき大会】

11月末、西内野小学校体育館で行う。道具も材料も地元という手作りのもちつき大会。世代間交流、地域交流、伝統文化の継承などを目的とする。

【小・中学校での活発なボランティア活動】

西内野小学校は、平成26年度 優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣賞受賞。今では、年間のべ3000人～5000人のセーフティスタッフ、学校支援ボランティア活動がある。内野中学校も、学習支援ボランティアのべ2000人を超える。

【住民による生活支援】

ゴミ出し支援、雪かき、草刈り、お助け隊、支援隊

【顔の見える関係づくり】

地域の茶の間、西内野食堂（地域食堂）、盆踊り練習会、星空観測会、子どもふれあいスクール事業
地引き綱・宝さがし大会、子どもみこし



目標・目指す姿 こんなまちにしたい

世代を超えて支えあう 安心・住みよい地域づくり
～ ひとりひとりが輝く西内野 ～

目標を達成するために . . . 具体的な取り組み

1.誰もが困った時に助けあえる地域づくり

- ①高齢者指導員の育成（のっぺ、みそづくり、囲碁など）
- ②地域マップの作成（民生委員・コミ協・自治会協働）→現状の可視化と情報共有
- ③見守り活動の強化 . . . 友愛訪問・自治会内での見守り活動→民生委員だけでなく、地域の多くの方から見守り活動をしてもらう
- ④住民による生活支援の活発化（ゴミ出し支援、雪かき、草刈り、お助け隊、支援隊など）
- ⑤認知症をはじめ、困った感のある人の見守り活動を広げる
- ⑥地域・学校・保護者で課題の共有
- ⑦各施設・イベントのバリアフリーの確認（ハード・ソフト両面）

2.地域活動に参加しやすい場づくり

- ①誰もがつながれる場づくり、機会づくり
- ②地域活動、みんなで参加・みんなで運営（やれる人が、やれるときに、やれることを）
- ③西内野地域のホームページ開設（情報のプラットホーム化）
 - ・各種イベント情報
 - ・イベント時のバリアフリー情報
 - ・ツイッターなどSNSと連動した情報提供
 - ・空地、空き家の情報

3.新しい人材発掘・地域リーダーづくり

- ①イベント、コミ協行事、自治会、PTAなど地域内のあらゆる活動での人材情報の共有（人材発掘について常に意識し、意識づける場づくり）
- ②各活動に対する在任期間の条件づけ（後継者を育成するしくみづくり）
- ③各地域リーダーによるSNSグループの形成及び情報共有のしくみづくり

